

**第六期長期策定委員会 傍聴者アンケート**  
**第6回実施分（平成30年11月26日開催） 自由記載欄**  
**【傍聴者 12名】**

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。 ※傍聴者10名記載

<p>・市が実施する委員会等は、委員長・副委員長の意見が色濃く反映することが多いですが、本委員会では委員が積極的に発言し、とてもよかったです。</p>
<p>・市民意識調査をめぐる質疑は大変興味深かったです。5長調の総括の中では、小中一貫(施設一体型)へ行こうとしたことは大切なポイントです。反省すべき。財政状況の“意図的”過小評価もあります。委員長の言われた「前向き感」のところが5長調と6長の違いであってほしいです。</p>
<p>・財政見直しについて、微増、横ばい、微減は、とても楽観的に思えます。ワーストシナリオについても試算し、公表してほしい。(例)景気悪化、大型の直下型地震の発生、固定資産価格が下落した場合</p>
<p>・実績と評価は、市民意識調査のような、いろいろな市民に直接聞いてみるような調査も含めて、一般市民側からも評価することが必要。行政や委員会だけの評価では、視野が狭すぎると思います。</p>
<p>・計画のほうで「社会情勢の変化」が議論になりましたが、過去の評価(五長の実績)でふれるべきことがあると思いました。(市の努力だけではできないこともあることを明示する) ex 予想外の人口増(一極集中)、ふるさと納税(減収)、国保の広域化や介護保険の改定(市民サービス低下、負担増)etc</p>
<p>・「財政はひっばくしていない」という意見を聞いてよかった。          ・市民と市民外を別けない。イイネ！ この議論よかった。</p>
<p>・資料4-2 18P 基本施策3「緑」を基軸としたまちづくりの推進についての市による自己評価(素案)には重要な点が落ちていていると思います。それは、境山野緑地の雑木林の更新が進まず、「今後検討します」と言い続けて、この間、雑木林の劣化がどんどん進んでしまっていることです。この点もきちんと自己評価してください。市民の財産がどんどん目減りしているのですから。</p>
<p>・意識調査報告の指摘や議論は大切な視点であり、今後の報告に改善を期待したい。今後もう少し、地域の課題や問題にフォーカスして議論を積み重ねてほしい。この先の10年のために、武蔵野市として独自の試みや視点が少なく感じる。多様性から共生を大切にするまちづくりの視点まで踏み込んでほしい。</p>
<p>・7Pの「社会経済情勢等の変化」では、武蔵野市(特有の状況)は、出生率が増え、他自治体と違い子どもが増えていること、それによって学校施設、保育園が不足していることは、特長として書いた方がいいと思います。          ・13P 2)未来ある子どもたちが」と、せっかく主語を子どもとしたのであれば、子どもの健やかな育ち、主権者として、市民としての<u>子どもの育ち</u>の視点を入れた方が良かったと思います。          ・6Pの「小中一貫」は、委員が指摘するようにそこまで詳しく書く必要があるのかとは私も思いました。</p>
<p>・文言の選定は大事だと思いました。          ・五と六の違いというところはかなり興味をもちました。</p>

その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。 ※傍聴者10名記載

・市の決めることは決定までのプロセスが重要だと思います。情報公開を市民参加促進のため、重点的に行うようですので、プロセスも公開してほしいと思いました。また、市の事業をどう評価するかも重要で、計画→実施→評価→改善(PDCA)のサイクル全体を公開してほしいです。

・財政見直しについては、現調整計画の30年プランは撤回されたと判断されます。そうすべきでは？ 公共施設総合管理計画等にも影響があります。

・要綱(素案)p7(1)にある「行政への信頼感の崩壊」はホントですか？「政治への信頼感の崩壊」ならわかりますが…。それと、ここ(1)変化に、戦後の日本社会のセーフティネットの崩壊の進行を入れるべきでは。

・大変活発な意見交換をされていることに敬意を表します。この調子で市議会との意見交換でも大いに議員をやり込めてください！期待しています(一議員より)

・長期計画の見直しは、毎年チェックし、変更、修正、中止、追加の判断をして、進める項目も追加すべきでないか。

・時代の変化とともに見直すことが今後重要と思われる。

・とても重要な議論をされていると思います。しかし、この自治体は22年後の2042年度(平成52年度)に基金が枯渇し、財源不足に転じるとされています。そこにもっとフォーカスした議論してほしい。実際、歳出を抑制するとしていながら、(五調の実績では)ほとんどその記述はされていません。抑制できていないと思えます。しかし、この状態ではこの議論がムダになるとしか思えません。財源不足の自治体のままで。財政改革をしなくてはならないこと、その方法論について議論して下さい。

《武蔵野市の雑木林の現状》

・雑木林は、江戸時代の新田開発によってつくられたものであり、武蔵野市にとっては、貴重な歴史的な財産です。武蔵野といえば雑木林といわれるほど、武蔵野市を代表する緑のシンボルの一つとして市民に愛されてきましたが、現在では市内からほとんど姿を消しました。景観的にも本来の雑木林とはまったく異なる姿になってしまい、もはや武蔵野の雑木林とはいえない状態です。市有地の雑木林として残る独歩の森は、かつては10～15年サイクルで更新されていましたが、最後に伐採されてから75年経った現在も更新されずに、高木化・老木化しています。その結果、今年倒木の危険回避のため枯損木15本が伐採を余儀なくされ、さらに台風24号で大規模な被害を受けるに至り、「武蔵野」を冠した本市から、雑木林の消滅が危惧されています。

《提言》

・第五期長計では、「緑」を基軸としたまちづくり＝緑の保全と創出を生物多様性とのつながりまで広げて推進してきました。次の第六期長計では、守り、はぐくんでいく「緑」の中身に踏み込んだ基本政策が求められます。「緑」の中身は様々ですが、その中には「武蔵野らしい緑」があり、「緑のはぐくみ方」があります。その代表格は「武蔵野の雑木林」です。歴史的に貴重な財産である雑木林を、伝統文化を受け継いだ形で更新し、はぐくみ、本来の景観および自然を再生することで生物多様性の保全も図り、持続可能な状態で未来へとつないでいくことが必要です。雑木林の管理は長期的な計画のもとに行う必要があるため、まさに長期計画で位置づけるべきテーマと考えます。

雑木林の再生は市民の強いニーズです。

・「小中一貫学校」について決着をつけたことは良かった。既存小中学校の建替えは、子ども・教職者・地域住民参加の方式を考え出し、「ポジティブ」な課題に仕上げてはどうか。(現状、「公共施設に多額の積立金が必要」のようなネガティブな印象なので…)

- ・市民意識調査、提出がなかった数と無回答の数の取扱いはどうちがうのか？
- ・平成32年や平成60年などは今後ツッコミが入って時間のムダにならないか？
- ・五長調計では50年先までの財政見通しがあったが、今回はないのか？ 五長調計でも必要なかった？
- ・討議要綱、緑、環境の中に「生物多様性」の文言がないのはなぜ？
- ・前市長から「新しいコミュニティ構想」という言葉が何度も発せられているし、市民会議の中でも多く意見が集まり、「新しいコミュニティ構想」に多くの期待が寄せられていました。なぜ討議要綱で触れないのか？
- ・討議要綱で「義務教育期間の学校」とあるが市の長計が関係する他の学校はあるのか？ わざわざ「義務教育期間」があると、それ以外の学校のあり方はどうするんだ？と考じる。
- ・緑・環境の中で「市民の共有財産」として「緑」と「街路樹」の2つが示されていておかしい。他にも共有財産はあるし、「市民の共有財産」の使い方は気をつけた方がよくないでしょうか？
- ・武蔵野市の歴史的なモノやコトの保全もませんか？

・資料2「市民意識調査報告」p34武蔵野市の将来像に大変興味深い回答があります。それは2番にある「豊かな緑に囲まれた」です。これに対応するニーズ得点(p30)を見ると下位の19番目です。これは今あるような豊かな緑に囲まれた環境は当然必要であるが、それは特にがんばらなくても実現すると多くの人が思っているということではないでしょうか。しかし、現実には上記②のように計画にあることさえ実施されずにいて、緑の環境が多くの人の知らないところで確実に劣化しています。緑の保全は重大な問題だと改めて感じました。

- ・市ではなく、地域の問題や課題への取り組みの優先順位をもう少し、明確にし、希望やプラスに展開させていく、などの工夫をしてほしい。小さくまとまっているイメージが強い。ワークショップ等の声が活かされているのか？疑問だった。
- ・子ども・子育て・高齢者・障害者などの支援からコミュニケーションの深まりに変えていく視点が重要であり、社会化や地域全体で相互でやるのが不足しているのでは？

- ・自治基本条例(仮称)と比較して、「市としての平和」の文言・表現が弱いと思います。討議要綱に入れてほしいです。武蔵野市から平和を発信していくことは、市の歴史経緯として重要です。
- ・21Pの10)「義務教育期間の学校のあり方」はあえて「義務教育期間」と入れる必要があるでしょうか。「施設一体型小中一貫校ではなく」は本当に良かったのですが、10)の項目だてがあえて必要なのか、もっと必要なことはないのかと思いました。例えば、小学校の自校式給食の促進や、体育館冷房設置などというのは「14」に入ると思いますが、教職員の長時間労働、多忙問題や学校ブラックと言われているような働き方の改善を入れてもいいのではないのでしょうか。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)